

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：黒潮流域の海洋生物自然史 ILAS Seminar :Marine natural history of warm current area			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育センター 助教 山守 瑠奈		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	6(6)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 集中・	教室	未定			使用言語	日本語
キーワード	海洋 / 生物 / 自然史 / 白浜 / 瀬戸臨海						
[授業の概要・目的]							
<p>海洋には多様な動物門の生物が生息し、種々の生物は共生系や捕食-被食関係等の生物間相互作用の中に生きている。しかし、海からほど遠い内陸部に居住している人からすれば海洋環境は自らの生活から離れた世界であり、学ぶ機会は得られない場合が多い。そこで本実習では、目の前に太平洋の広がる京都大学の瀬戸臨海実験所にて、実際に海洋生物に触れ、多様性や生物間相互作用について学ぶ。</p> <p>具体的には、事前学習の後、2024年4月27日から29日の2泊3日で和歌山県白浜町にある京都大学瀬戸臨海実験所に滞在し、フィールド調査と採集生物の解剖を主体とした実習を行う。実験所からほど近い場所には、番所崎や江津良海岸といった海岸が広がっており、そこには多様な海洋生物が生息する。番所崎には塔島礫層と呼ばれる地層が広がり、フジツボ類やイソギンチャク類等の固着生物や、ウニ類や二枚貝類に代表される穿孔生物、そして穿孔生物を基点とした住み込み共生系が観察できる。黒潮の洗う海岸にて、豊かな地質環境と生物相に触れ、無脊椎動物を解剖しその体勢を学ぶことで、海洋生物自然史の知識を身につける。</p>							
[到達目標]							
<p>1：海洋生物の分類についての知識を習得する。 2：海洋無脊椎動物の基本的体制についての知識を習得する。 3：1,2を生息環境と関連付けて考えることで、生物の環境への適応について考察できるようになる。</p>							
[授業計画と内容]							
<p>4月19日18時30分：ガイダンスを行います。また、事前学習の指示を行います。 場所：農学部総合館第一会議室（N283） （やむを得ず時間や場所が変更となる場合はKULASISから連絡をします）</p> <p>2024年4月27日から29日：和歌山県白浜町の瀬戸臨海実験所にて、2泊3日の日程で実習を行います。実習の際に、事後学習の課題を提示します。</p> <p>現地での実習にかかる交通費・宿泊費・食費は受講生の自己負担となります。</p>							
[履修要件]							
特になし							
ILASセミナー：黒潮流域の海洋生物自然史(2)へ続く							

ILASセミナー：黒潮流域の海洋生物自然史(2)

[成績評価の方法・観点]

実習への積極的な参加(40点)、実習最終日のプレゼンテーション(20点)、事前学習・事後学習の課題提出(20点)、実習中の主体的な質問および、観察に基づいた独自の考察の展開(20点)により評価します。

[教科書]

実習期間中に、瀬戸周辺の生物ガイドブックおよびプリントを配布します。

[参考書等]

(参考書)

山守瑠奈『たくましくて美しいウニと共生生物図鑑』(創元社, 2021) ISBN:4422430432 (実習で主に扱う内容を書いています)

日本ベントス学会『海洋動物の生態学入門: ベントスの多様性に学ぶ』(海文堂出版, 2020) ISBN: 4303800511 (海洋生態学を体系的に学べます)

[授業外学修(予習・復習)等]

参考図書の「たくましくて美しいウニと共生生物図鑑」に実習で扱う内容の多くが記載されているので、読んでおいて頂けると学習がスムーズです。

[その他(オフィスアワー等)]

受講希望者数が定員(6名)を超える場合、抽選による選抜を行います。

4月19日18:30から農学部総合館第一会議室(N283)にてガイダンスを行うので、受講希望者は必ず出席してください。

野外実習を含むため、学生教育研究災害傷害保険には必ず加入してください。

瀬戸臨海実験所までの交通費、現地での滞在費・食費は自己負担です。

宿泊場所は瀬戸臨海実験所の宿泊棟の利用を予定しています。